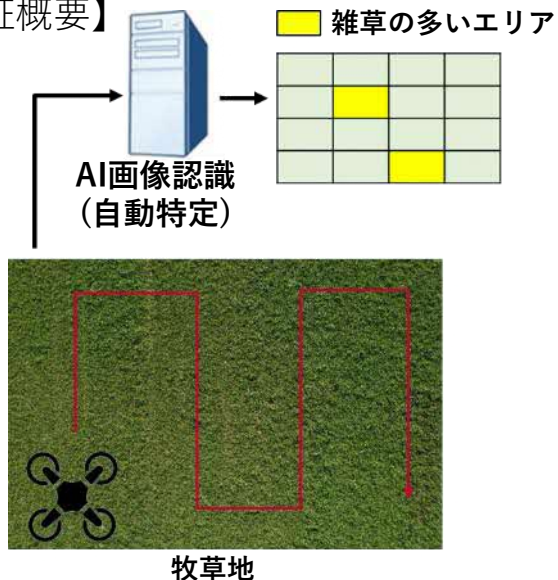


令和2年度ICT活用牧草生産実証事業（十勝地区）結果

①ドローンによる牧草地の雑草検知実証実験(ギシギシ及びオニアザミ)

【実証概要】

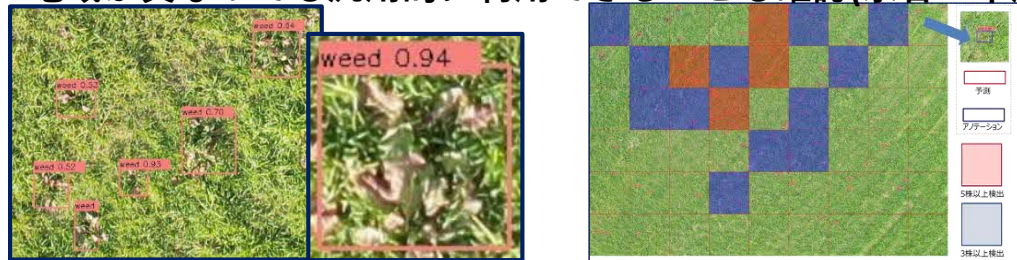


【結果】ギシギシは認識精度向上し、新たにオニアザミ検知可能に

株単位の発生状況における
認識率：約**45.9%**
(昨年度：約35.8%)

メッシュ単位の発生状況に
おける認識率：約**83%**
(昨年度：約79%)

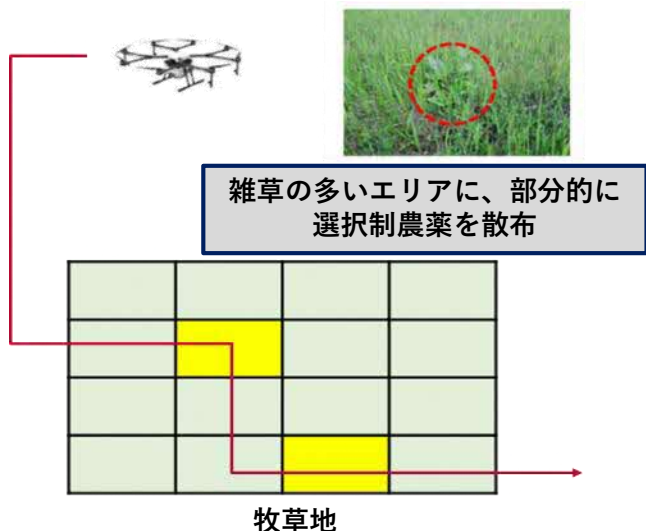
地域が異なっても汎用的に利用できることも確認(宗谷・十勝)



【課題】ギシギシ・オニアザミだけではなく検知可能な雑草の種類を増やすことが必要

②ドローンによる農薬（自動）散布、播種による草地更新実証実験

【実証概要】



【結果】・散布に要する時間が昨年度の約半分となり、ドローンによる農薬散布効果が十分得られることを確認

除草剤ハーモニー



除草剤アージラン



ドローン性能向上



・裸地へのドローン播種も実施
(独自追跡調査予定)

【課題】ドローンの能力向上や既存農薬の高濃度散布が認められることが必要

- ・カセット式
- ・タンク容量増加(16L)